

(平成20年度実施事業)

事業評価表

事業CD. 0110102 - 25000

京都府南丹市

作成日:平成21年05月03日

事業名	小中連携教育研究事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体	教育委員会 学校教育課 担当: 寺田
事業区分	事業分類: (B)ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 時限事業 (平成 21年度迄) 政策体系CD: 122	関連法令・条例等	<input type="checkbox"/> その他 ( )	

【事業の概要】

①施策で目指す目標との関連付け  
 未来を担う人材育成という観点から、研究指定校を中心に、小・中学校の学びの連続性にテーマにおいた研究活動を行い、研究教科（国、算・数、英）の授業の在り方に関する研究を行い、市全体に反映させることを目的としている。

②  
 事業を実施する必要性  
 小・中学校の学びの連続性をテーマとして、文部科学省から研究指定を受けて行うものである。小中一貫した教育に係る研究と、その結果の波及活動は、今後の南丹市の卓越した学校教育を目指す上で、また、確かな学力を身につけさせる上で、必要不可欠なものである。

③未実施事項  
 未実施事項なし

④他にも効果が見込める施策があるか  
 第4章5 未来を担う人づくりを進める  
 =卓越性を目指す様々な取組と積み上げによる人づくりという点から=

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円			216	250	
うち一般職、嘱託職、臨時職給与および共済費等	千円			0	0	
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	0	
	国・府支出金	千円		208	240	
	地方債	千円		0	0	
	一般財源	千円		8	10	
職員等従事人員	人/年	—	—	0.47		
人件費	千円	—	—	2,018		
事業費総額	千円	—	—	2,234		

【主な支出の内訳】

研究実践に係るスーパーバイザー助言指導	95千円 (謝金)
研究実践指定校 (全国) 協議会参加	71千円 (旅費)

【近隣市町村の取り組み状況】

近隣市町の取組はなし

【前年度の評価を受けて改善した点等】

※平成20年度新規事業として実施

【所属長総括評価】

府内で本事業の採択を受けた市町は3市町となっており、その注目度は大きい事業であり。また、本事業を通じて、本市がその重点項目とする小・中の一貫した教育という観点からも、今後益々重要な観点であり、必要な実践内容であると考えている。次年度が最終年度となるが、この実践を基礎として、今後も継続発展した取組を考えたい。

# 事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	122	事業名	小中連携教育研究事業		
事業CD.	110102-25000	細事業名			
所管部局	教育委員会	所管課	学校教育課	担当	寺田 成樹

110102-25000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
	<p>●平成20年度(国立教育政策研究所轄)「小・中連携教育実践研究事業」への公募をし、採択されたもの。(平成19年12月公募・・・平成20年3月採択)                      ※平成20年度～21年度の2年間指定                      [取組内容]                      義務教育段階の小・中学校間で相互の連携を促進し、継続性や接続の円滑化を図るための研究実践を行うもので、本市においては、小学校2校中学校1校を拠点校として実施した。                      ※本年度は、研究初年度として、目的とする実践内容の共通認識に係る会議を開催し、各教科担当の実践校により、スーパーバイザーの指導助言も受けながら、各教科に係るチーム編成により、会議と授業研究を重ねた。</p>	通年	●園部中学校ブロックを中心とし、各教科における習得すべき内容と、これへの指導方法について緻密な指導計画を作成すべく進め、国語、算数・数学、英語を中心とした年間指導計画の作成など、小中連携と授業改善に繋がる具体的な成果が見られている。
	<p>※授業研究会等                      園部小学校・・・算数                      園部第二小学校・・・国語                      園部中学校・・・数学                      摩気小学校・・・英語</p>	平成20年10月及び12月	小中学校の関係教員による授業研究と、総括会議を実施
	<p>※連携プロジェクト会議                      各教科に係る中間総括会議</p>	平成20年3月	次年度への方向性も含めた総括